

8 ボーダレスの世界へ羽ばたくために

皆さんはインターネットやマス・メディアを通して世界中の人々とリアルタイムで情報を共有し、世界中の出来事を瞬時に知ることができる時代に生きています。“日本と海外”という意識が薄らいでいくほど、世界が狭くなっていくこの国際化社会のなかで、将来社会に出て行く皆さんには何が求められているのでしょうか。このような時代に対応していくために、皆さんは福岡大学での4年間をどのように過ごし、どのように学べばよいのでしょうか。

若いときに異文化と直に触れることは複眼的なものの見方を養い視野を広げるとともに、これまでの価値観を相対化して自分を見つめ直し人間性を高める契機となるものです。そのような機会を与えてくれるのが留学や海外研修です。異文化に触れ、そこに生きる人々との交流を通して国際感覚を養い、ひいては国際社会に通用する知識やスキルを培う絶好の機会であり、学生時代でなければ体験できないことです。



短期の海外研修プログラムや交換留学にチャレンジしよう!

国際センターでは、8月と2月に語学研修を中心とした2~4週間の研修を、イギリス、アメリカ、オーストラリア、中国、韓国の協定校で実施しています。まずはこのプログラムに参加して、語学力向上と異文化を学ぶことから始めてみませんか?

きっと、短期研修だけでは物足りない、もっと語学力をアップさせて自分の専門分野を学びたい、その国の文化や歴史をもっと知りたいし現地の人々とも交流もしたい、という意欲がでてくるはず。そのときは是非、7カ国16協定大学間で実施している本学の交換留学制度を利用して1年間の留学を実現させてください。交換留学では、留学先大学の授業についていけるだけの語学力、すなわち、現地語による講義を理解し、授業での討論に参加し、テキストを読み、レポートや論文を作成できるだけの語学力が求められます。たとえば英語圏の大学の場合には、交換留学の出願資格として最低限必要な英語力がTOEFL-iBT (internet-Based Test)、TOEFL-ITP (TOEFL 模擬試験) のスコアで示されています。求め



られるスコアは大学によって異なりますが、英語圏の大学で授業を受けるためには最低でもTOEFL-iBTで80点程度、TOEFL-ITPで550点程度の英語力が必要です。語学力を向上させたいと考えている皆さんのために、国際センターでは交換留学対策講座として、英語、中国語、朝鮮語の特別授業を開講していますので、積極的に参加してください。また、過去に交換留学や短期の海外研修プログラムに参加した学生の体験記や、交換留学の手引きなどの情報を揃えていますので気軽に立ち寄ってください。

留学しなくても学内で国際交流!

協定校からは交換留学や研修で多くの学生が本学にやってきます。これらの学生との交流の場を大いに利用しましょう。是非、国際センターで福岡大学国際交流ボランティア (FIT) に登録してください。FITは外国から受け入れている留学生や研修生のためのイベントにおいて、たとえばホストファミリーとして、研修旅行のガイド役として、日本語授業のアシスタントとして、様々な面でサポートするボランティア学生です。多くのFITメンバーがこのボランティア活動を通じて異文化を学ぶだけではなく、自国日本やその伝統に根付いた国民性を振り返るきっかけとなり、自分は日本人としてこれからどう国際社会に関わっていくべきかを考える貴重な機会になった、と感想を述べています。

関心のある人は、「留学フェア」(4月9日。詳しくは掲示を見てください。)へ来てください。

ボーダレスの世界へ羽ばたくために、国際センターは皆さんの挑戦を支援します。

